農林水産省　スマート技術体系への包括的転換加速化総合対策事業（全国推進事業）

スマート農業技術を活用した新たな生産方式推進シンポジウム

土地利用型農業編 in 神戸・淡路島

参加無料
会場・オンライン開催



先進的な技術を活用した栽培体系への転換に取り組む産地の成果や先行事例、
専門家からの最新情報を共有し、スマート農業技術を活用した
新たな生産方式の横展開を図ります。

1日目 12月3日(木)

13:00～17:00（開会13:30）

講演・展示会　ハイブリッド開催（会場＋オンライン）

会場　**ザ マーカススクエア 神戸**
（神戸マリオットホテル）5階　ザ ボールルーム
兵庫県神戸市中央区東川崎町 1-3-5

プログラム

13:00　受付・スマート農業に関する技術展示見学（10社程度）

13:30　開会・主催者挨拶／来賓挨拶

13:50　**基調講演**
つじ農園におけるスマート農業への取り組み
株式会社つじ農園　代表取締役　辻 武史 氏

14:50　スマート農業に関する技術展示見学（10社程度）
※オンライン参加者には、全国推進事業における現地実演会動画（ダイジェスト）を配信

15:30　講演会「スマート技術を活用した新たな生産方式」
1. 水稲有機栽培における両正条植えと直交機械除草技術
農研機構 農業機械研究部門　深山 大介 氏
2. 露地野菜分野におけるスマート農業技術の活用と新たな生産体系への展開
農研機構 野菜花き研究部門　斎藤 岳士 氏
3. スマート農業技術を活用した農業支援サービスと技術開発の取組
株式会社農社　代表取締役　奥野 竜平 氏

17:00　閉会

2日目 12月4日(金)

8:00～12:30（雨天決行）

現地検討会　貸切バスで移動（神戸駅発着）

会場　**株式会社農社　圃場**
（兵庫県洲本市・淡路島）

スケジュール

7:50　JR神戸駅 南口 バス乗り場 集合

8:00　JR神戸駅 発
（貸切バスで移動・淡路SAでトイレ休憩あり）

9:30　現地検討
株式会社農社において活用されている
スマート技術等の展示・実演

展示・実演予定のスマート技術
- トラクタ後付け自動操舵システム
- 農業用・センシング用ドローン
- 小型うね間作業用ロボット
- ハスモンヨトウ予察システム
- ラジコン草刈機

※展示・実演機械は当日変更となる場合があります。
※雨天時は展示説明のみとなり、短縮日程となります。

11:00　現地出発（淡路SAでトイレ休憩あり）

12:30頃　JR 神戸駅 到着　その後、12:50頃 JR 新神戸駅到着
※交通状況により遅れることがあります。

定員
講演・展示会　200名
現地検討会　90名
オンライン参加　500名

申込締切　令和8年11月27日(金)
ご参加には事前申込が必要です。

お申し込み方法
全国農業改良普及支援協会ホームページに掲載の申し込みフォーム（右記二次元バーコード）からお申し込みください。

主催　一般社団法人 全国農業改良普及支援協会

お問い合わせ　TEL：03-5817-4992
E-mail：smart-pro@jadea.jp

スマート農業技術を活用した新たな生産方式推進シンポジウム

土地利用型農業編 in 神戸・淡路島

講師プロフィール

基調講演 **辻 武史 氏**

株式会社つじ農園 代表取締役

精密機械メーカーで航空宇宙分野の品質管理などに従事した後、2016年に三重県津市で就農。2020年に法人化。水稲を中心にスマート農業技術を積極的に導入し、ドローンセンシングやデータに基づく栽培管理など、生産性向上に取り組んでいる。

講演① **深山 大介 氏**

農研機構 農業機械研究部門

農研機構農業機械研究部門の機械化体系研究領域長。農業機械の高度化や省力的な作業体系の研究開発に取り組む。水稲有機栽培では、苗を碁盤目状に植える両正条植えと縦横方向の機械除草を組み合わせ、除草作業の省力化を目指している。

講演② **斎藤 岳士 氏**

農研機構 野菜花き研究部門

農研機構野菜花き研究部門のスマート生産グループ長。露地野菜の生育・収量予測やスマート農機の効率的な運用に向けた技術開発に取り組む。気象・圃場データやリモートセンシング技術を活用した生産管理の高度化を進めている。

講演③ **奥野 竜平 氏**

株式会社農社 代表取締役

県の農業職として、農業普及指導や水稲・麦・大豆の試験研究に従事。2021年に兵庫県洲本市で株式会社農社を設立し、自社農場をベースとした農業生産現場の課題解決に向けた技術開発やコンサルティング事業、農業支援サービスにも取り組んでいる。

現地検討会で紹介するスマート農業技術

中山間地の小区画圃場にも適用できるスマート技術などの実演・展示



トラクタ後付け自動操舵システム「AGMO」

（鋼鈑商事株式会社）

既存のトラクタに自動操舵機能を後付けできるシステム。シンプルで直感的な操作画面が特徴で、小区画圃場にも対応し、精度の高い作業と運転負担の軽減を実現する。



農業用ドローン「T70K」「T25K」

（株式会社クボタ）

大容量散布に対応した「T70K」と、機体による圃場測量も可能な「T25K」。いずれも営農支援システム「KSAS」と連携し、可変施肥や作業記録の管理など、データを活用した効率的な営農を支援する。



小型うね間作業用ロボット「ウネマキ・ウネカル」

（株式会社FieldWorks）

「ウネマキ」は、狭いうね間でもラジコン操作で薬剤散布ができ、作業者の薬液への接触を軽減。「ウネカル」は、うね幅に応じて車体を変形できる小型草刈ロボットで、狭いうね間の除草作業を省力化する。



ハスモンヨトウ予察システム「ムシミエールBI」

（株式会社農社）

フェロモンで誘引したハスモンヨトウをセンサーで自動計数し、発生状況をグラフ化。スマートフォンやパソコンから日々の発生動向を確認でき、調査の省力化と適期防除の判断を支援する。



ラジコン草刈機「神刈」

（株式会社アテックス）

最大45度の急傾斜地でも作業できるクローラ型ラジコン草刈機。傾斜に応じてエンジン角度を自動調整する機構を備え、法面など危険な場所での草刈り作業の安全性と効率を高める。

※展示・実演機械は当日変更となる場合があります。雨天時は展示説明のみとなり、短縮日程となります。